

アラビア語の「いい／わるい」

ワリード・イブラヒム

0. はじめに

日本語の「いい／わるい」は、ものごとの評価に用いられる（漠然とした意味を表わす）形容詞である。例えば、西尾（1972）では、「[いい]」「わるい」は、対象の性質の種類に関してはまったく自由であって、ともかくその性質が積極的に評価されるものであるか、消極的に評価されるものであるかを表わす語である（187・188P）」と記述されている。また、山田（2000）にも「イイは、文脈に応じてさまざまな言い換えができる多くの用法をもつ。……中略……「イイ N」の N の位置には、ほとんどすべての名詞が立ちうる。（125. 126P）」と述べられている。すなわち、日本語の場合は、特に「イイ」には、共起制限がほとんど見られないが、アラビア語の場合は「イイ／ワルイ」にどんな特徴が見られるかを本論で明らかにしたい。

断り書き

- (1) エジプト方言には、日本語「イイ／ワルイ」のように、プラス評価とマイナス評価を簡潔に表わす表現がある。例えば、プラス評価を表わす「kuwayes（良い）」と「helw（良い・美しい・素晴らしい・美味しい）」と、マイナス評価を表わす「mesh-kuwayes（良くない）」と、「wehesh（美しくない、良くない）」はあるが、本稿では、正則アラビア語を分析の対象とする。
- (2) 正則アラビア語では、日本語の「イイ／ワルイ」に対応する語として、「イイ」には「jayyd」と「. hasan」、そして、「ワルイ」には「radyy?」と「sayy?」があげられる。ここでは、その使い分けの背景にある法則を明確にする。
- (3) アラビア語の分析の過程では、参考文献であげた「アラビア語辞典類」を参考にしつつ、主に筆者の直感や語感をもとに考察した。
- (4) 「イイ／ワルイ」に対応するアラビア語の形容詞は文中では基本形（男性形・単数）であげるが、アラビア語の形容詞は名詞の「性・数」を受けるため、例文では名詞の性（男性、女性）・数（単数、双数、複数）に合わ

せる。

- (5) アラビア語の形容詞は動詞から派生した分詞であるが、分析の過程では、元の動詞を基本形（三人称・男性形・単数・能動・完了形）であげる。

1. アラビア語の「イイ」

前述のように先行研究でも、日本語の「イイ」は多義的で使用範囲が広いプラス評価を表わす形容詞であるが、アラビア語に訳すのは非常に困難な語である。辞典類による日本語の「イイ」に対応するアラビア語をみると、基本的に「**jayyd**（優秀な、有能な）」や「**.hasan**（立派な、適切である、良好である）」が対応しているが、文中では、その文脈（被修飾語）によって対応する語が違って来る。例えば、山田（2000）に挙げた例にアラビア語訳をつけてみれば、次のような対応語になる。

1. a. イイ人 (*shakhsun saleh*) b. イイ男 (*ragulun wasim*)
c. イイ女 (*?imra?h gazabah*) d. イイ子 (*?bnun muhazab*)

上の例文をみると、「イイ」の訳には四つのアラビア語の形容詞が対応していることがわかる。それぞれの直訳は、(a) の「**saleh**（行いが正しい）」、(b) の「**wasim**（ハンサムな）」、(c) の「**gazabah**（魅力的である）」、そして、(d) の「**muhazab**（しつけのよい）」である。また、次の例文も (1) のようにそれぞれの「イイ」の訳が異なっている。

2. a. イイ医者 (*.tabibun bari'*) b. イイ暮らし (*'ishatun raghdah*)
c. イイ天気 (*gaun jamyyl*)

例文 (2) の (a) には「**bari'**（有能な）」、(b) には「**raghdah**（ゆとりのある・贅沢な）」、そして、(c) には「**jamyyl**（良好な・美しい）」が対応している。また、次の3のように、(a) の「医者」の場合だけは形容詞を「**jayyd**」に置き換えられるが、「**bari'**（有能な）」などのように能力が優れているという意味を表わす形容詞の方が自然に聞こえる。

3. イイ医者 (*.tabibun jayyd*)

(1) と (2) でみたように、日本語の「イイ」に対応している形容詞が文脈や意味によって違って来る。また、基本的に「イイ」に対応しているアラビア語の「**jayyd**（優秀な、有能な）」と「**.hasan**（立派な、適切である、良好である）」がほとんど見られない。では、次に「**jayyd**」と「**.hasan**」が使われる表現を分析してみよう。まず、「**jayyd**」の基本的な意味を検討してみる。

1-1 「jayyd」

「**jayyd**」の意味は「特定の仕事を巧みに成し遂げる能力が備わっている性質、

そのものとしての十分な働きを発揮することができる性質」と定義される。すなわち、「良い、優勝な、上手、有能な」という意味を表わすから、例文4のように、「時計、車、かばん」のような機械やものについて、期待される機能やデザインが満足できる程度に備わっているという意味を表わす。また、「料理」の場合は、味よりも「よくできている、栄養バランスの取れている」という意味を表わす。言い換えれば、人間が用いるために巧みに作られたものについてのプラス評価を表わす語だと言える。

4. a. (sa'atun **jayydah**) イイ時計 b. (. haqybah **jayydah**) イイ靴
c. (. ta'amun **jayyd**) イイ料理 d. (sayyarah **jayydah**) イイ車

前述のように「**jayyd**」は、機能や能力が十分に整っているという意味を表わすから、日本語の「いい人」のように漠然としたプラス評価を表わす場合には用いられない。しかし、特定の分野で優れた能力を見せた人を評価する場合には用いられる。例えば、次の例文でも見られるように「作家、選手、研究者」など、特殊な技能や専門での人の能力を評価する場合にも用いられる。

5. a. (katibun **jayyd**) イイ作家 b. (la'ib **jayyda**) イイ選手

また、その意味で人間だけではなく、動物にも用いられる。次の例文のように「馬、犬」にも用いられるが、それは漠然とした評価ではなく、特定の能力の評価である。例えば、「犬」の場合は、その護衛役(番犬)としての評価である。「馬」の場合も「競馬」における活躍の評価である。一方では、「猫、牛など」のように、特殊技能や能力が見られない動物には用いられない。

6. a. (farasun **jayyd**) イイ馬 b. (kalbun **jayyd**) イイ犬

以上で見た「**jayyd**」は、「機械・もの・人間・動物」の特定の能力を評価するのに用いられる他に、次の例文のように「とき」を表わす「タイミング、機会」と、「ことがら」を表わす「結果、成績、態度」の場合でも用いられる。

7. a. (tawqitun **jayyd**) イイタイミング b. (fursatun **jayydah**) イイ機会
c. (natijatun **jayydah**) イイ結果・成績 d. (slwuk **jayyda**) イイ態度

すなわち、「**jayyd**」は、機械や特定の目的で利用されるものが十分に機能していたり、人間や動物が特定の専門や分野で特殊な技能や能力を十分持っていたりするという意味を表わす。また、「とき・ことがら」を表わす語とも共起することから、日本語の「イイ」と共通する部分が大きいのであるが、「イイ」が共起可能な対象の全てを「**jayyd**」でカバーできるわけではない。次では「イイ」に対応する「. hasan」の分析でさらに明確にしたい。

1-2 「. hasan」

「. hasan」は、外見や感覚の対象になるもののプラス評価を表わす場合に用い

られることが多い語であるが、述語としての用法は不自然であり、修飾語としての用法の方が多い。つまり、複合的な用法の方が自然だと考えられる。次の例文を見ると、「**jayyd**」は述語として用いられるが、「**. hasan**」は述語としての用法はないようだ。

8. ○ (haza al-kitab **jayyd**) この本はイイですね。

9. × (haza al-kitab **. hasan**) この本はイイですね。

では、ここで「**. hasan**」の基本的な意味や用法を見ることにする。「**. hasan**」は基本的に「良い、立派な、美しい」という意味を表わし、その基本的な用法としては、人間の外見や内面、そして、事柄のプラス評価を表わす。また、次の例文 (10～14) のように複合的に用いられることが多いようである。

10. (**. hasan** al-ma. zhar) 容姿のイイ

11. (**. hasan** al-sumaah) 評判のイイ

12. (**. hasan** al-. ha. z) 運のイイ

13. (**. hasan** al-axlaq) 気性のイイ

14. (**. hasan** al-neyyah) 善意である

また、複合的な表現以外にも、修飾語としての用法がある。次の例文のように「名詞＋形容詞」という形式でも用いられる。

15. (Al-wagh **el-hasan**) 美しい顔

16. (Al-nwayya **el-hasanah**) 好意的な意図

以上の例文をみると、人間の外見（「容姿」のように）と、内面（「気性・善意」のように）、もしくは、「評判、運」のような事柄をプラス評価するために用いられるが、「形容詞・名詞」という形式で用いられることが多い。そして、次の例文 (17, 18) のように事柄を表わす「成績、関係、評判など」のような語と一緒にのみ述語として用いられる。しかし、例文 (19, 20) で見られるように、ものや動物を表わす語と用いられない。

17. ○ (nataijahu **. hasanah**) 彼は成績がイイ。

18. ○ (sum'atuhu **. hasanah**) 彼は評判がイイ。

19. × (hadehe al-saiarah **. hasanah**) この車はイイ。

20. × (hadehe al-qe. tah **. hasanah**) この猫はイイ。

1-3 「**jayyd**」と「**. hasan**」の相違点

以上で見た例文からは次のようなことが言えるであろう。アラビア語には、日本語の「イイ」に対応する一つの語はないとは言えるが、アラビア語の語彙には、「**jayyd**」と「**. hasan**」の二つの語がプラス評価を表わす基礎的な語である。「**jayyd**」は、人間や動物やもののプラス評価を表わし、そして、修飾語として

も述語としても用いられる。それに対して、「. *hasan*」は、人間や事柄のプラス評価を表わす語であり、複合的か修飾語として用いられ、述語としての用法は非常に少ない。

また、同じ文脈で「*jayyd*」と「. *hasan*」の置き換えが可能な場合は語根に依存するニュアンス²⁾が現れると言える。例えば、次の二つの例文のニュアンスの違いをみると、「. *hasan*」を使った例文 21 は、好意的な関係というニュアンスを含意し、そして、「*jayyd*」を使った例文 22 は、しっかり機能しているという意味を表わす。

21. ('elaqat . *hasanah*) 良好な関係

22. ('elaqat *jayyedah*) 良好な関係

このようなニュアンスの違いは両語の語根を成している動詞の基本的な意味によると考えられる。例えば、「*jayyd*」は「*ajada*」という動詞から派生した形容詞であり、その動詞は「巧みに利用する・実行する・よくできる」という意味を表わす。つまり、「*jayyd*」は、機能的な面を重視する形容詞であると考えられる。それに対して、「. *hasan*」は「. *hasuna*」という動詞の派生語であり、その動詞は、表面的・外見的美しさを表わす。従って、「. *hasan*」は相対的良さの判断を表わすだと言える。

次の(2.)では日本語の「ワルイ」に対応するアラビア語をみることにする。

2. アラビア語の「ワルイ」

アラビア語には日本語の「ワルイ」対応する語を二つあげられる。まず、「*jayyd*」の対義語として「*radyy?*」³⁾、そして、「. *hasan*」の対義語として「*sayy?*」⁴⁾の2語であるが、ここでは、それぞれの基本的な意味や用法を検討する。しかし、ここで断っておきたいことが一つある。以下、参考書であげるアラビア辞典類では反義関係まで言及するものは皆無に等しく、上記で示した「*jayyd*」対「*radyy?*」そして、「. *hasan*」対「*sayy?*」の反義関係は筆者がそれぞれの語の意味や用法の両面の特徴と共起制限に基づいて設定したものである。

2-1 「*radyy?*」

「*radyy?*」は「*jayyd*」の反義を表わす語であり、「悪い、品質のよくない、十分に機能していないもの」という意味を表わす。そして、次の例文でも分かるように「*jayyd*」と同様に「人間、動物、機械やもの」と共起し、そのマイナス評価を表わすのに用いられる(例文 23 参照)。

23. a. (sa'atun *radyy?h*) ワルイ時計⁵⁾ b. (. haqybah *radyy?h*) ワルイ鞆
c. (farasun *radyy?*) ワルイ馬 d. (katibun *radyy?*) ワルイ作家

また、例文 24 でも見られるように、事柄を表わす語とも共起できるが、そのような内容を表わす語には「**sayy?**」の方がより自然に聞こえる。そして、文法的な機能の面からも、「**jayyd**」とほぼ重なっている。つまり、述語としても修飾語としても用いられる（例文 25-a は述語の用法、25-b は修飾語の用法）。

24. a. (tawqitun **radyy?**) ワルイタイミング
 b. (slwuk **radyy?h**) ワルイ態度
 c. (natijatun **radyy?h**) ワルイ結果・成績
25. a. (hadha al-ketabu **radyy?un**) この本はワルイです⁶⁾。
 b. (ketabun **radyy?un**) ワルイ本です。

2-2 「**sayy?**」

「**sayy?**」は「**. hasan**」の反義語であり、「悪い、好ましくない、恥じるべきもの」という意味を表わす。そして、「**. hasan**」は「性格の悪い・評判の悪い・運の悪い」などのような慣用句的な表現でよく用いられるように「**sayy?**」も慣用句的な用法がよく見られる。例えば、次の例文 26 (a~e) をみると、(a と b) 以外は「**radyy?**」に置き換えられない。また、(a と b) の場合も「**sayy?**」の方が「**radyy?**」よりは自然である。

26. a. (**sayy?** al-ma. zhar) 容姿のワルイ。
 b. (**sayy?** al-sumaah) 評判のワルイ。
 c. (**sayy?** al-. ha. z) 運のワルイ。
 d. (**sayy?** al-axlaq) 気性のワルイ。
 e. (**sayy?** al-neyyah) 悪意のある。

しかし、共起制限の面や文法的な機能の面からは、「**sayy?**」は「**. hasan**」よりも広い範囲をカバーしている。上記 (1-2) でも見たように、「**. hasan**」は、「人間」や「職業」を表わす語と共起しないが、「**sayy?**」はそのような意味分野を表わす語と共起し、述語としても修飾語としても用いられる。例えば、「**. hasan**」の場合は、「いい人、いい先生」のような表現では用いられないが、「**sayy?**」の場合は、例文 (27、28) のように「母親、作家」と共起する。

また、上記の例文 (8、9) では、「**jayyd**」と「**. hasan**」の置き換えが不可能だったが、次の例文 (29、30) では、「**radyy?**」と「**sayy?**」はどちらも同じ文脈で用いられる。

27. (heya ?umun **sayy?h**) 彼女はワルイ母親だ。
 28. (hwa kateb **sayy?**) 彼はワルイ作家だ。
 29. (haza al-kitab **radyy?**) この本はワルイですね。
 30. (haza al-kitab **sayy?**) この本はワルイですね。

また、次の例文でも分かるように「**radyy?**」と「**sayy?**」の置き換えが可能
なとき、語根から生じるニュアンスの違いが見られる。

31. ('elaqat **sayy?h**) 不良（対立している）な関係
32. ('elaqat **radyy?h**) 不良（機能していない）な関係

3. まとめ

以上、日本語の「イイ／ワルイ」に対応するアラビア語を見てきたが、それぞれに二語ずつ対応していることが分かった。「イイ」には、「**jayyd**」と「**.hasan**」があるが、共起制限や文法的機能から分析した結果から次のことが明確になったといえる。

プラス評価を表わす「**jayyd**」と「**.hasan**」をみると、まず、共起制限の面からは、「**jayyd**」は、「人間、動物、もの」と共起し、「**.hasan**」は、「人間、事柄」と共起する。そして、意味的な面からは、「**jayyd**」は、能力や技能を評価し「機能的な面を重視する形容詞」であるのに対して、「**.hasan**」は、相対的良さの判断を表わし「表面的・外見的美しさを重視する」形容詞であると言える。また、統語的な面からは、「**jayyd**」は、修飾語としてもや述語としても用いられるが、「**.hasan**」は、複合的か修飾語として用いられ、述語としての用法は非常に少ない。そして、「**jayyd**」と「**.hasan**」の置き換えによって生じるニュアンスの違いは語根に依存する。

次に、マイナス評価を表わす「**radyy?**」と「**sayy?**」の場合は、それぞれが共起制限の面からも意味的にも統語的にも対応している語とほぼ重なっていると言えるが、共起制限の面や文法的な機能の面からは、「**sayy?**」は、その反義語である「**.hasan**」よりも使用範囲が広いと言える。

注

- 1) 「複合的」とは、言語的に二つの単語が一つ概念を表わし、そして、一般的には一つの単語として扱われる表現という意味を表わしている。
- 2) ニュアンスの違いは筆者の語感に基づくものである。
- 3) 「**radyy?**」は (radw?a) という動詞から派生した分詞であり、その意味は、「劣悪である。能力や品質などが劣る。価値・能力は前と比べて悪くなる。」である。
- 4) 「**sayy?**」は (saa?a) という動詞から派生した分詞であり、その意味は、「悪くなる、悪化する。」という意味である。
- 5) アラビア語例文の日本語訳は直訳になっているが、例えば、例文23のアラビア語の意味は以下の通りである。

「ワルイ時計、ワルイ靴」：物が悪い・品質が悪い。

「ワルイ馬」：よく走らない馬、血統の良いものではない。

「ワルイ作家」：文章が下手、文章の内容がくだらない、つまらない。

6) 「この本はワルイ」は「くだらない、間違った情報を含むなど」という意味である。

参考文献

西尾寅弥（1972）『形容詞の意味・用法の記述的研究』秀英出版

山田進（2000）「「いい」の意味論」『日本語 意味と文法の風景—国広哲弥教授古稀記念
論文集—』ひつじ書房

辞典類

『アラビア語—日本語電子辞書』、KOJI NAITO、<http://arabic-japanese.com>

Al-muagam Al-araby Al-muyassar. Dar Al-Kitab Al-Masri. 1991

Mukhtar al-Sahah. by Ibn Abi Bakr Ar-Rhazi. Librairie du Liban. 1986

Al-wasyt. Majima al-lugha al-arabyyah. al-Dar al-hndasyah. 3rd Edition. 1985